

日本台湾学会報

第20号

2018年7月

目 次

特集「シンポジウム 転型正義と台湾研究」

- 大いなる幻影に抗して——台湾の市民社会による転型正義への試み
..... 吳 豪人 (1)
- コメント 「転型正義」／「転型不正義」からの問い
..... 北村 嘉恵 (30)
- コメント ヘゲモニーに抗する研究の共和
..... 森 宣雄 (38)

論 説

- 台湾と樺太における日本帝国外地農業試験研究機関の比較研究
..... 中山 大将 (45)
- 移民工文学賞という試み—包摂と排除の狭間で—
..... 倉本 知明 (67)
- 台湾における高学歴化と不完全就業—宿泊業・飲食サービス業を中心に—
..... 國府俊一郎 (82)
- 日本における台湾「市民社会」の伸張と受容—仏教系民間非営利組織を事例として—
..... 今井 淳雄 (104)
- 台南の「救世主」となった「日本人」—湯徳章英雄説の検証と分析—
..... 天江 喜久 (126)

研究ノート

- 台湾地方自治連盟による 1933 年の朝鮮地方自治制度視察の意義
——楊肇嘉の構想する台湾地方自治制度の参照として
..... 野口 真広 (148)

書評 (164)

エッセイ 台湾研究を始めるということ (211)

『日本台湾学会報』創刊号～第 20 号総目次 (214)